

会議録

会議の名称	第3回西東京市交通計画策定委員会
開催日時	平成19年1月30日 15時00分から 17時00分まで
開催場所	西東京市保谷庁舎4階（B会議室）
出席者	別紙参照
議題	1 第2回交通計画策定委員会の会議録について 2 交通計画の素案について (1) 本市の現状及び課題整理について (2) 基本計画の策定について (3) 整備効果の検討について (4) 実施方策の検討について 3 その他
会議資料の名称	第3回西東京市交通計画策定委員会資料
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>事務局：開会の挨拶、会議資料等の確認</p> <p>（議題1：第2回交通計画策定委員会の会議録について）</p> <p>事務局：前回議事録について今回の開催通知とあわせてお送りしているが、内容等について何かあれば申し出をいただきたい。この内容でよければそのまま承認をいただきたい。</p> <p>委員長：事務局から会議録の説明があったが、内容についてはこれでよいか。 異議なし。</p> <p>（議題2：交通計画の素案について (1) 本市の現状及び課題整理について）</p> <p>A委員：前回委員会資料と比較して、問題点の整理(3)公共交通に関する問題点・課題で「病院等の主要施設へのアクセスの不便さ」という項目が削除されてしまった。バリアフリー新法の改正に伴って、都市施設や病院など面的なバリアフリー整備を進めていくようである。このような背景の中で出来れば項目を復活して欲しい。また、病院などへアクセスするバス路線については集中的にバス停</p>	

周辺などのバリアフリー整備を進めていくという項目を追加して欲しい。

「1-3. 交通に関わる問題点」と「1-4. 交通体系整備に関わる課題整理」が対応していないため、どのような考え方で整理しているのかお聞きしたい。

事務局：病院等へのアクセスについては具体的な施設のイメージが困難で、抽象的な表現になるため、削除した。1-3は現状を踏まえた問題点を整理し、その中で1-4は問題点を解決する視点で課題を整理している。タイトルが交通と交通体系という2つの言葉を用いてわかりづらくなっているため、タイトルを再度見直していきたい。

A委員：出来れば問題点の整理の中で「病院等の主要施設へのアクセスの不便さ」は追加して整理して欲しい。

委員長：「1-4. 交通体系整備に関わる課題整理」の中で、アンケート調査結果については現状整理に移動した方がいいのではないか。また、資料11頁の関連計画の整備で福祉・安全・環境・地域活性化等については関連する施策もあるので、本マスタープランでバックアップする施策と取り扱う施策を明確にした形で整理した方がいいのではないか。

B委員：資料3頁で混雑度の用語説明を付けて欲しい。6頁で交通事故発生状況があるが、凡例と出典の時期が異なるため、統一して欲しい。

事務局：混雑度は用語説明を加える。混雑度とは交通容量と交通量との比で、混雑度が1.0以上の場合は交通容量以上に交通量が発生し、混雑している状態をいう。交通事故発生状況の時点は統一する。

C委員：駅前広場を新たに整備する場合、車椅子利用者への対応などバリアフリーの観点が求められる中で、円滑な移動手段を確保する観点からは相反する形となっている。他都市においてもバススペースが減少する傾向にある中で、出来るだけ広く整備できるように今後考えて欲しい。

事務局：駅前広場を整備する際には、事前にバス事業者など関係機関と協議・調整しながら進めていきたい。

委員長：交通体系整備に係る課題を整理した上で、交通結節点だけでなく病院等へのアクセスなど重点的に取り組む必要がある課題を図面上に表現し、交通施策と対応させた方が分かりやすいのではないか。

(議題2：交通計画の素案について (2) 基本計画の策定について)

(議題2：交通計画の素案について (3) 整備効果の検討について)

(議題2：交通計画の素案について (4) 実施方策の検討について)

D委員：段階的整備スケジュールで前回委員会では「短期」「中期」「長期」という区分であったが、仕分けが変更されたのはどうしてか。

事務局：目標年次の平成25年は7年後と短いため、「短期」「中期」「長期」という区分では少し細かすぎるという判断をさせて頂き、変更した。

委員長：交通施策によって、7年間「検討」とするのは盛り込まないなども含めて再検討して欲しい。区分も2年間で5年間という区分でいいのかも含めて検討して欲しい。また、移動支援に関する施策などで、他の関連計画で盛り込んでいる場合

は関連性が分かるように表現して欲しい。

副委員長：高齢者、障害者等に対する移動支援のあり方の中で、「移送」ではなく「移動」に変更して欲しい。サービスセンターとは市として取り組むことを考えているのか。

事務局：「移動」に変更する。サービスセンターについては、交通計画としてこのようなイメージで今後取り組んでいきたいという提案の内容となっている。

委員長：実現性が高いシステムイメージとなっているのか。行政との調整はどのように考えているのか。

事務局：システムイメージは提案という形となっているが、具体的な内容については今後福祉部局と調整しながら進めたい。

E委員：第三次事業化路線の定義を入れて欲しい。

事務局：定義を入れる。

C委員：資料32頁でバス停での待合空間は上屋等の整備をイメージしているのか。

事務局：上屋等のハード整備に加えて、バスロケーションシステムなどソフト要素もイメージしている。

C委員：利用しやすい運賃制度の中で、清算がしやすい、乗降時間の短縮はバスシステムそのものにも関わってくるので、どのようなイメージで表現しているのか。

事務局：バス・電車との乗り継ぎなどについてP A S M Oにより改善されるイメージで表現している。例えばバスを乗車した際にポイントが加算されるなどバス事業者と調整を図りながら検討していきたいという趣旨である。

C委員：市民にとって誤解を招く表現のため、変更して欲しい。

委員長：「バス利用者の利便性向上」という表現の方がいいのではないか。

事務局：変更する。

F委員：本計画の位置付けや趣旨、上位関連計画と本計画との位置づけ・関連性などについて始めに整理した方がいいのではないか。また、段階的整備スケジュールの考え方を整理した方がいい。

事務局：整理する。

委員長：各交通施策を進めるに当たっては、役割分担を明確にした上で、整理した方がいいのではないか。

A委員：スペシャルトランスポート（STS）として病院等へのアクセスは本計画の重点施策イメージ図になるのか、それとも福祉政策の方に記載するのか。

委員長：関連諸計画との役割分担もあり、どこまで本計画の中で表現できるかあるが、出来れば盛り込んだ形で整理して欲しい。

F委員：「はなバス」について、病院等主要施設近くにバス停やルートを設置して欲しいという要望が多い。「はなバス」の担う役割として、民間バス路線の補完的な役割を担っていくのか整理する必要があるが、病院等へのアクセスについては視野に入れながら検討して欲しい。

D委員：「はなバス」の見直しは平成21年度以降にならないと変更できないのか。もう少し早くできないか。

事務局：今年度アンケート調査結果が整理された段階であるため、今後見直しが必要な地域などを明確にした上で、関係機関との協議・調整や、検討期間などを含

めると平成21年度以降になってしまう。

D委員：早期に実施して欲しい。

事務局：市民の方の全ての要望を聞ければ良いが、需要や事業効果等を加味して検討するため、難しい。

B委員：「はなバス」のルートを検討する際は、今回のような地域公共交通会議を開催するのか。

事務局：開催して協議していきたい。

B委員：段階的整備スケジュールの中で、駅周辺の交通環境の向上対策として駅アクセス道路や踏切改良などに線が引かれていないのはどうしてか。

事務局：全て含めて表現している。

B委員：バリアフリーはハード整備だけでないため、ソフト施策についても盛り込んで欲しい。「はなバス」の導入目的として、高齢者や子育て支援などを担っていると思うが、再度地域のニーズを見直して、さらに地域に根付くような方法で検討して欲しい。また、本計画の基本理念である人と環境にやさしい施策として、低公害車の導入など環境の面と、バリアフリーをもっと本計画の中で位置付ける必要があるのではないか。

G委員：地域交通会議と国土交通省で掲げている地域交通協議会とは同じものか。

事務局：国土交通省の協議会をベースに、西東京市としても考えていきたい。57頁の地域交通会議は公共交通や福祉政策だけでなく、総合的に検討していくための組織をイメージしている。

G委員：他自治体でも同様の会議を開催しているが、紛らわしいので、57頁の仮称の名称を変更したら如何か。

事務局：このような会議は多く設置しても機能しないため、出来れば1つの協議会で集約したいという趣旨で、分野毎に分科会がぶら下がっているイメージである。

G委員：出来ればそのようなイメージが分かるような形で表現を修正して欲しい。交通不便地域の定義を明確にして欲しい。

事務局：鉄道駅から半径1km、バス停から半径300mで表現している。定義は記載する。

委員長：市民の皆様から生活の実感として、多くの質問が出てくる可能性があるので、対応策としてQ & Aを最後にまとめることもあるかと思う。皆様のご意見を全て計画の中に盛り込むと、逆に読み難くなる可能性もあるため、その辺りも含めて再度再考して欲しい。

実施主体、スケジュールなどは推進体制や役割分担の考え方にまとめられるので、出来れば集約した方が分かりやすいのではないか。

また、先に重点施策を打ち出して、それ以外の施策を枝葉的に表現するという形も個人的な意見としてはあるので検討して欲しい。

重点施策をみると、細かく表現されているものと、漠然と表現されているものがあるので、再検討して欲しい。また、全体的な文面として、「推進する」「図る」などの用語が使われているが、もう少し意思をもった形で表現して欲

しい。

整備効果として、7年後の西東京市における効果、モビリティの状況を示しているのだから、課題と方針と、整備効果を最初に整理した方が分かりやすいのではないか。

H委員：個別の名称に関する記載と実態が異なっているため、施設名称を入れないなど検討して欲しい。自転車空間のイメージは向きがおかしいのではないか。

事務局：イメージ図は訂正する。

I委員：駅前広場周辺のイメージ図で、青梅街道など「生活幹線道路」は本計画の中で定義しているのか。これら生活幹線道路は電線類の地中化や高機能舗装の整備などが記載されているが、立場的に実現性の面で危惧しているので再考して欲しい。

事務局：表現の仕方は検討する。

A委員：重点施策のイメージ図にも病院へのアクセスも表現して欲しい。

委員長：具体的な表現は難しいので、地域公共交通会議のような中で検討することになるのではないか。

交通需要マネジメントとしてどこまで取り組むのか、具体的に記載して欲しい。

事務局：表現を工夫したい。

A委員：倒壊などによる避難路の確保など防災に関する視点は、この計画の中で盛り込むべきなのか、他の計画なのか分からないがこれでいいのか。

事務局：防災関連は地域防災計画の中で位置付けている。避難路や延焼遮断帯としての機能や、緊急車両の通行幅員を確保するという事は本計画の中で整理していないが、防災面も考慮して整備していくことは道路整備計画の中で記載している。

委員長：関連する施策を充実した方が良いのではないか。

事務局：承知した。

委員長：他に意見があったら、後日にでも事務局に伝えて欲しい。

(議題3：その他)

委員長：パブリックコメントの意見は次回委員会で提出されるのか。

事務局：質問と回答を提出したい。

J委員：本日の意見を踏まえて、修正したものをパブリックコメントするのか。修正して各委員に確認して頂いてパブリックコメントするのか。

事務局：修正しないで本日の資料をパブリックコメントに出したい。その後、本日の意見とパブリックコメントの意見を踏まえて、修正したものを次回委員会に提示したいと考えている。

次回委員会は議会日程も含めて調整した上で、ご連絡させていただきたい。